

令和3年度事業報告書

一般社団法人 日本消防放水器具工業会

第1 総 則 会員の動向

区 分	年度当初の会員数	退 会	入 会	令和4年3月末現在数
正 会 員	19	0	0	19
賛 助 会 員	10	0	0	10
計	29	0	0	29

第2 総会及び理事会

1 定時総会

第28回定時総会が、令和3年5月25日、港区新橋「田中田村町ビル8階」において開催され、次の議案が審議され承認された。

- 第1号議案 令和2年度事業報告書(案)承認の件
- 第2号議案 令和2年度収支決算書(案)承認の件
- 第3号議案 令和3年度事業計画書(案)承認の件
- 第4号議案 令和3年度収支予算書(案)承認の件
- 第5号議案 定款一部改正(案)の件
- 第6号議案 理事及び監事選任(案)の件

2 臨時総会

第26回臨時総会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。

3 理事会

(1)第1回理事会が、令和3年5月10日、港区新橋「田中田村町ビル8階」において開催され、次の議案が協議され承認された。

- 協議事項1 令和2年度事業報告書(案)及び令和2年度収支決算書(案)の件
- 協議事項2 令和3年度事業計画書(案)及び令和3年度収支予算書(案)の件
- 協議事項3 定時総会等の開催(案)の件
- 協議事項4 長官表彰候補推薦者(案)の件
- その他(報告事項等)

- ① 役員候補者(案)について
- ② 国土交通省からの依頼について
- ③ 全国消防機器協会からのからの情報提供等について
- ④ 品質評価・認定評価・認定の受検状況表について

(2) 臨時理事会が、令和3年5月25日、港区新橋「田中田村町ビル8階」において開催され、次の議案が協議され承認された。

協議事項 1 会長、副会長及び常任理事の選定の件

協議事項 2 委員会委員構成(案)承認の件

(3) 第2回理事会が、令和3年7月19日、Zoom会議で開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項 1 令和3年度第1回業務委員会報告(案)の件

協議事項 2 令和4年度定時総会・表彰式・懇親会の件

総会は令和4年5月24日(火)「明治記念館」、臨時総会は「箱根パークス吉野」で開催することが承認された。

その他(報告事項等)

① 技術委員会議事録(案)について

② 消火栓機能向上小会議報告(案)について

③ 一般社団法人 日本消防放水器具工業会 会員名簿について

④ 業務委員会・技術委員会・消火栓機能向上委員会 名簿について

(4) 第3回理事会が令和3年12月6日、東京都港区「新橋田中・田村町ビル会議室」において開催(Zoom併用)され、次の事項が協議され承認された。

協議事項 1 令和3年度上半期収支報告書(案)の件

協議事項 2 消火栓機能向上研究委員会が開催する実証実験等に関する件

協議事項 3 保形ホース経年劣化調査に関する消防庁予防課との打合せの件

協議事項 4 正式書類における押印廃止についての件

その他(報告事項等)

① 機器協会会長表彰候補者推薦依頼について

② 機器協会からのIFCAA2022 YOKOHAMA開催および横浜国際 消防・防災展への出展依頼について

③ 全国消防機器協会から令和3年度後半の行事予定等について

(5) 書面表決が、令和4年1月28日付で行われ、次の事項が理事全員の同意により承認された。

協議事項 1 会議室用webカメラ「MeetingOwl」購入の件

(6) 第4回理事会が令和4年2月17日、Zoom会議で開催され、次の事項が協議され、協議事項1~4は承認され、協議事項5は他工業会が主となる旨の決議がなされた。

協議事項 1 令和4年度予算(案)の件

協議事項 2 令和4年度全国消防機器協会会長表彰者推薦(案)の件

協議事項 3 令和4年度一般公開出展(案)の件

協議事項 4 年末年賀状発送休止(案)の件

協議事項 5 会員からの陳情依頼の件

その他(報告事項等)

① 消火栓機能向上研究委員会実験実施報告(案)について

② ホース工業会との合同委員会報告(案)について

③ 工業会定例表彰候補者の推薦について

④ 機器購入承認の書面による手続の結果について

⑤ 令和4年度各団体総会表彰式等開催について

⑥ 令和4年度定時総会・臨時総会について

(7) 第5回理事会が令和4年3月18日、Zoom会議で開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項 1 業務委員会からの提案(案)の件

協議事項 2 令和4年度収支予算(案)の件

- 協議事項 3 令和4年度事業計画(案)の件
- 協議事項 4 令和4年度工業会会長表彰推薦候補者(案)の件
- 協議事項 5 定時総会等の開催(案)の件

総会は昨年同様、会議室を借り、表彰式および懇親会は中止することで協議し、承認された。また、9月予定の臨時総会についても中止とされた。

その他(報告事項等)

- ① 消火栓機能向上研究委員会報告(案)について
- ② 全国消防機器協会からの情報提供等について

第3 事業・業務概要

1 審査関連業務

既設消火栓のホース互換性確認審査、およびアスピレートノズル技術審査の申請はなかった。

2 品質評価等の関連業務

- (1) 日本消防検定協会が行う消火栓の認定業務、品質評価に係る諸問題についても、検定協会業務企画室及び消火・消防設備課と随時協議を行った。また、消防機器等に関する研修会も東京と大阪で開催され、積極的に会員の参加を図った。

3 管理関連業務

易操作性1号消火栓のひとり操作表示シール「緑」の申込み受付、発送等の業務を行った。

4 会員との意見交換、情報提供等

(1) 情報提供

消防庁が発行する「消防白書」、「通知」、「案内」及び日本消防検定協会が発行する「検定協会だより」、「検定時報」、「通知」、「案内」並びに(一財)日本消防設備安全センターの発行する「月刊フェスク」、「通知」、「案内」等関係機関、関係団体、関係工業会の資料、情報等を会員に配布した。

(2) 功労者の表彰

- ① 令和3年度消防関係業界功労者表彰(消防庁長官表彰)は、千田常男氏((株)立売堀製作所)および嶋村次郎氏((株)横井製作所)の2名が受賞した。
- ② 令和3年度消防機器等関係者表彰((一社)全国消防機器協会会長表彰)は、関敦洋氏(東京サイレン(株))、北浦靖氏((株)北浦製作所)、宮内健次氏(YONE(株))、小野寺博之氏((株)立売堀製作所)の4名が受賞した。
- ③ 令和3年度(一社)日本消防放水器具工業会会長表彰は、石並慧氏(芦森工業(株))、金時博之氏、竹内豊敏氏(以上,(株)立売堀製作所)、大河内俊宏氏((株)北浦製作所)、福原裕二氏((株)建設工業社)、林新矢氏(帝国繊維(株))、黒木恭平氏(東京サイレン(株))、笠原正司((株)山田製作所)、若林功一氏(ヤマトプロテック(株))、糸伸明氏、白川奈津子氏(以上,(株)横井製作所)及び河合紳吾氏(YONE(株))の12名が受賞した。

(3) 親睦、講演会等

定時総会、臨時総会、研修会等において会員相互の意見、情報交換を行い、親睦を深める予定であったが、新型コロナウイルス拡大防止の観点から縮小開催、あるいは中止となった。

第4 関係機関、関係団体との連絡、協力

1 消防庁及び東京消防庁等との連絡、協力

- (1) 消防庁、東京消防庁及び国土交通省が主催する会議へ出席するところ、令和3年度は中止となった。
- (2) 消防庁の実施した春秋2回の全国火災予防運動では、その実施に先立ち予防運動の高揚を図った。

(3) 消防庁に届出する「自主表示対象機械器具等表示一覧表」を届出された会員へ個別に発送した。

2 日本消防検定協会との連絡、協力

(1) 日本消防検定協会が主催する消防機器業務懇談会（令和3年4月、明治記念館）は中止となり、「工業会としての重点事業・トピックス」を提出した。

(2) 日本消防検定協会からの通知、連絡事項及び資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。

3 一般財団法人日本消防設備安全センターとの連絡、協力

(1) 消火栓等開閉弁の認定業務に対する連絡、情報交換及び消防製品 PL センター業務の推進に協力した。

(2) 日本消防設備安全センターからの通知、連絡事項及び資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。

(3) 消防設備の経年劣化に対応した点検方法等検討会に参画し、情報の提供を行った。

4 一般社団法人 全国消防機器協会との連絡、協力

(1) (一社)全国消防機器協会からの通知、連絡事項および資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。

(2) 褒章、消防関係業界功労者表彰（消防庁長官表彰）、消防機器等関係者表彰（(一社)全国消防機器協会会長表彰）の上申等に当たり綿密に連携し各々の表彰受章に寄与した。

(3) (一社)全国消防機器協会に設置されている社会貢献委員会及び 消防機器等製品情報センターの運営会議に出席し消防設備に関する研修会への情報提供を行った。

5 関係工業会との連絡、協力

(1) (一社) 全国消防機器協会主催の事務局長会議等において各工業会との情報交換を行った。

(2) 自主表示届出番号制度、屋内消火栓用の交換ホースについて（一社）日本消防ホース工業会、（一社）日本消火装置工業会と随時協議し情報交換を行った。

第5 調査研究

1 アスピレートノズル付広範囲型2号消火栓の啓蒙活動

消火能力が優れているとされるアスピレートノズルを、広範囲型2号消火栓の標準ノズルと位置づけし普及すべく啓蒙活動を実施した。

(1) 放水時の使いやすさや放水反力の少なさを体験いただくために、科学技術週間における試験施設の一般公開において、広範囲型2号消火栓の展示、及び放水体験を実施する予定であったが、中止となった。

2 保形ホースの経年劣化における調査

日本消防ホース工業会と合同で、保形ホースの点検基準改正への手順、交換を促す啓蒙活動の内容、及びその方法等を協議した。

(1) 保形ホースの点検基準改正への促進

改正の根拠となる保形ホースの劣化調査を行うために、防火対象物に20年以上設置された簡易型消火栓から保形ホースのサンプリングを行い、当該ホースの耐圧試験、物性試験等の性状に関する劣化状況の取り纏めを行った。さらに、数多くのサンプリングを集めるため、エアによる経年劣化調査を開始するための基本準備を行った。

3 新たに機能を向上させた屋外消火栓の研究・開発

技術委員会の下に消火栓機能向上研究委員会を組織し、一般財団法人日本消防設備安全センターの助成金を受け、新たに機能を向上させた屋外消火栓の研究・開発を行った。